

事業所における自己評価総括表

○事業所名	児童発達支援＆放課後等デイサービス　て・あーて			
○保護者評価実施期間	2025年10月1日～2025年10月31日			
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	45名	(回答者数)	26名
○従業者評価実施期間	2025年12月1日～2025年12月31日			
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	7名	(回答者数)	7名
○事業者向け自己評価表作成日	2026年1月15日			

○分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	お子さまのことを十分に理解し、特性等に応じた専門性のある支援を行っていること。	送迎時に保護者さまと、お子さまに関する情報の共有を丁寧に行っています。また、保育者・看護師・療法士・心理士など多様な職員で連携をしながら支援を行っています。	専門性や連携力の向上に向けて、研修の受講機会の増進を行っていきます。
2	個別支援計画の内容の丁寧な説明や、内容に沿った支援を行っていること。	最低年に2回、保護者さまとの面談時間を確保しています。実践では、その日の主幹受け持ち職員を個別に設定することで、個別支援計画に沿って内容の充実した支援を行っています。	保護者さまやお子さまにとって理解しやすく実感を伴う支援につなげて行くよう、視覚的な資料の活用や専門用語を避けた丁寧な説明を行っていきます。
3	活動等のスペースが十分に確保されており、体調や特性等に応じた活動場所を提供していること。	1日の中で集団下での支援の時間と、個別支援の時間があります。支援内容に合わせた活動スペースの選定を行っています。	活動目的別のスペース活用をより明確にするとともに、環境や遊具の整備や管理維持を継続していきます。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	職員の人数が足りずに、定員未満であってもすべてのご利用希望者を受け入れることが出来ない日があります。	職員の確保の課題があります。また、曜日固定制ではなく利用希望制での予約受付を行っているため、利用希望者が多く重なる日が出ることがあります。	職員確保のため、働きやすい環境作りに取り組むとともに、業務の効率化や役割分担の見直しを行い、安定した受け入れ体制の構築を目指します。
2	保護者さまに対しての非常災害時の対応等のマニュアルの定期的な説明や、日頃の訓練や取り組みの確実な共有ができていません。	非常災害時の対応マニュアルは、契約時に配布・説明したきりとなっています。月1回程度行っている訓練の内容は、玄関掲示にてお伝えしていますが、あまり保護者さまの目に触れないかも知れません。	非常災害時の対応マニュアルは、契約時以降にも定期的に説明する機会を設けます。訓練内容はお子さまのご様子も含めて、口頭でもお伝えし保護者さまにも取り組み内容をご理解いただけるようにして行きます。
3	家族支援プログラムの実施や、保護者同士やきょうだい同士で交流する機会を作っていない。また、地域の方々と直接交流する活動を行っていません。	ご家族向けの研修は、外部団体からの情報提供を多くいただいているため、その情報を共有させていただいている。	引き続き、外部団体が実施する研究や交流の機会について情報提供を行い、各ご家庭のニーズに応じた支援につなげて行きます。 情報提供の方法やフォローの工夫により、家族支援への関与をより丁寧に行っていきます。